

平成29年度第1回印西市文化財審議会会議録

1. 開催日時 平成29年7月5日(水) 午後2時～午後3時20分
2. 開催場所 印西市役所 41会議室
3. 出席者 武藤委員、一島委員、岡崎委員、滋賀委員、横山委員、酒井委員、高橋委員
4. 欠席者 西山委員、富田委員
5. 傍聴者 0名(定員5名)
6. 事務局 大木教育長、生涯学習課：飯島課長、坂巻、根本
7. 会議内容(すべて公開)
 1. 開会
 2. 委嘱書交付
 3. 教育長あいさつ
 4. 職員紹介
 5. 会長及び副会長の選出について
 6. 議事
 - (1) 平成29年度事業計画について
 - (2) その他
 7. その他
 8. 閉会

8. 会議録

- 1～4 開会、委嘱書交付、教育長あいさつ、職員紹介
5. 会長及び副会長の選出について
会長に武藤委員、副会長に一島委員を選出

6. 議事

- (1) 平成29年度事業計画について

《事務局説明》

資料をもとに平成29年度事業計画について説明

《委員意見》

委員：資料中の語句の訂正について。「周知させる」とあるが、「周知する」の表現が正しい。訂正をお願いしたい。

⇒訂正します。

委員：発掘調査や建造物修理の見学等について、良い機会なので学校関係者との連携は考

えているか。

⇒日程調整が必要となるが、地元の小学生には見学してほしいと思っている。

委員：地域の小学生や一般市民が見学会に参加するのは良いことだと思う。

委員：映像記録の DVD 化について、図書館への配架や販売はあるのか？

⇒市内各図書館に配布予定である。一般への販売は行わない。

委員：一般の方が図書館でその DVD を借りてダビングすることはできるのか？

⇒個人で楽しむならダビングは可能だと思う。また、作成した DVD は、関係団体、学校、公共施設にも配布を考えている。文化財審議委員のみなさんにも配布予定である。

委員：石造物調査について、今はどういった人々が中心になってやられているの？

⇒本埜村時代から調査を継続して行っているもので、地元ボランティアの方々と職員で行っている。今後は本埜地域の報告書刊行に向けて専門家にアドバイスをいただきたいと考えている。

委員：埜原とはどの辺りか？

⇒印旛沼のほとり。旧埜原村の地域である。

委員：埋蔵文化財調査の道作 1 号墳について、今年度確認調査とあるが、古墳主体部の確認のみか？

⇒調査期間はひと月ほど予定している。主体部有無の確認と、有の場合は構造等の把握を行い、中の調査は行わずに埋め戻す予定。

委員：道作古墳の記述の中で、企画提案型協働事業とあるが、市で行っている協働事業はいくつあるのか？

⇒生涯学習課では、木下まち育て塾と NPO 法人小林住みよいまちづくり会との 2 事業。市全体だと 5 件だったと記憶している。

委員：このような事業を武西の六座念仏の継続に生かすことはできないのだろうか？興味のある人に集まってもらって協働事業を起こすのは難しいのか？

⇒企画提案型協働事業は、市民活動団体等と市が協働で事業を行うものなので、まずは、そのような団体があるのか等を確認しなければならないと思う。

委員：宗教的なことも絡むので難しいかもしれないが、地域の文化を継承していくためには、市民団体等とできるものがないと、絶えてしまうのでは。

委員：この辺りで踊り念仏が残っているのは武西だけ。船穂小で公開したこともあり、小学生に関心をもってもらおうとも思ったが、高齢化で休止してしまったのは残念である。

委員：地域の人じゃなければ、参加できないものなのか？

委員：地元の方は、自分たちのものという意識があると思う。県指定になっていなければとっくに絶えていた。

委員：農耕に関連した虫送りというものもあった。そういったものもいつの間にか消えてしまった。

委員：かつては市内各地で行われていた。

委員：記録を残しておいたほうが良い。

⇒先ほどDVDの話があったが、武西の六座念仏は全て記録してある。念仏の継続は厳しいが、年中行事の記録は押さえてある。

委員：ある程度行政が主体となっているいろいろ調査してほしい。歴史的なものが消えてしまうのではないかと危惧している。

⇒民俗関係は、委員のみなさんから情報提供をお願いしたい。映像記録が必要であれば対応したい。

委員：小学生にも体験させてという話も出たが、地域の人だけでなく興味のある人が参加できるような空気ができれば良いのではないかと思う。

委員：掩体壕について、草刈りはどうしているのか？

⇒昨年度までは、生涯学習課職員で対応していたが、今年度からは、再任用職員が行っている。

委員：草木が生えているほうが、メンテナンスや保存の上で良いのかとも思う。

⇒再任用職員が掩体壕以外にも市内文化財の巡回点検や草刈りを行っている。

委員：史跡は、植栽した場合でも維持管理が必要になる。保存と維持管理のより良い方法が求められている。掩体壕に関しては、復元などの話も出ていると思うので、その辺りも含めて考えていただくと良い。

委員：掩体壕が今まで残っていたのも、草木が生えていたからというものもあるだろう。形

が変化することがないことを望む。史跡の維持管理は大変だと思うが、委員のみなさんにも知恵を出していただくのが良いと思う。

委員：武蔵屋は今どうなっているか？また、色々な行事を行っているようだが？

委員：去年は塀を直して、今年は雨戸の修復をしている。催し物は、寄席や絵画の展示等を行っている。

委員：このような建物があることを周知していくことが大切だと思う。

会長：他に意見がなければ、平成29年度事業計画を承認いただく方は挙手をお願いしたい。

全員挙手 平成29年度事業計画承認

(2) その他

委員より旧永治小学校ソメイヨシノの文化財指定に関する要望書の紹介あり。

委員：卒業生にとっては思い出の桜である。保存会を立ち上げる話も出ている。今日、結論が出る話ではないと思う。

⇒巨樹・古木調査について、印西地区に関しては、平成22年度に環境保全課で調査を行っている。旧印旛村でも過去に調査をしているが、悉皆調査ではない。本埜地区は未調査である。市全体での把握はできていない。

⇒旧永治小学校については、今後の跡地活用が未定のため、市としての方向性が定まってから検討する必要がある。

委員：話題になっているチバニアンについて教えてほしい。

委員：地球の磁場が逆転した時の地層。印西市内でもその時代の地層が見えているところがある。

会長：他に意見がなければ、議事を終了とします。

7. その他

次期会議開催時期の説明を行った。

閉会

会議資料

次第、委員名簿、平成29年度事業計画、巨樹・巨木（古木）一覧

平成29年度第1回印西市文化財審議会会議録は、事実と相違ないことを承認する。

平成29年8月18日

印西市文化財審議会委員

武 藤 正 凱